

## 議論の要点及びご意見をいただきたい事項

**詳細把握調査**

## 調査の目的・方法について

- ・ 詳細調査では、国立公園として維持すべき草原の質、量、配置を明らかにするため、草原の種類や現状を詳細に把握して、どこの、どういう草原をどのような方策で保全・再生を図るかを明らかにしたい。
- ・ 景観と生物を独立で考えるのではなく、生物多様性と良好な景観をともに維持できるような計画を立てる。

以上の点から、どのような調査項目・内容が必要かという議論をお願いしたい。

## 候補地の選定について

- ・ 再生事業は基本的に国立公園内で行うものである。

**詳細把握調査の候補地はなるべく公園内の場所を挙げていただきたい。**

(例えば生物多様性上重要な草原、管理形態の変化によって危機的状況にある草原、さまざまな管理形態の草原・・・など)

**過去にデータが収集されている場所をご存知であれば挙げていただきたい。**

(またはそうした情報が載っている資料、情報を持つ人物なども)

**実証試験**

## 調査・管理方法について

- ・ 事業のねらいを理解してもらおう意味でも、地権者または牧野組合にも協力を依頼する。
- ・ パークボランティアについては、次年度からすぐに参加するのは難しいが、長期的には参加を目指している。
- ・ 管理は基本的に、環境省とNPOの共同事業という形で行う。

**対象地の現況把握は詳細調査に準じるが、生物多様性保全に効果的な維持管理という観点からの実証試験内容、維持管理の担い手として考えうる対象等についてアイデア、先行事例等をご教示いただきたい。**

## 候補地の選定

- ・ 実証試験は国立公園外で行ってもよい。
- ・ 管理や調査に対して地権者の許可が取れる場所でなければならない。

**上記のような点を踏まえて候補地のイメージ等をご提案いただきたい。**

(具体的な場所については個別にお伺いしたい)